インストールガイド・取扱説明書

Ver 1.7

AST Technology

Sophienstrasse 4

32051 Herford

Germany

JAPAN TOOL & DIE CO.,LTD.

日本金型産業株式会社

〒144-0051
東京都大田区西蒲田5-27-1
TEL：03-3733-6311
FAX：03-3736-5300
jtd@jtdtky.co.jp

目次

OnDemand ソフトウェアの概要 2
システム要件・ソフトウェア要件 2
CVe モニターの種類について 3
CVe モニターの USB フラッシュドライブについて 3
レポートのファイル形式について 3
金型の稼働状態を管理する 4
レポート保存場所のパスについて 5
OnDemand をアップグレードする 5
OnDemand をインストールする 5
    手順 1：ソフトウェアをパソコンにインストールする 6
    手順 2：レポートを作成できるように Excel を設定する 7
    手順 3：ソフトウェアを使用できるようにパソコンを設定する （Windows 7 のみ） 7
    手順 4：ユーザー名とパスワードを登録する 8
言語を設定する 8
CVe モニターを初期化する 9
パフォーマンスレポートと稼働状態レポートを作成する 9
データセキュリティについて 10
レポートをインポートする 10
金型を移動する 10
データのダウンロード時間を短縮する 10
稼働状態の概要レポートの説明 11
稼働状態の記録の説明 12
トラブルシューティングについて 13
    FLASHdr を検出できない場合 13

OnDemand ソフトウェアの概要

本ソフトウェアは弊社が無料で提供しているレポート作成用ソフトウェアです。CVeモニターに本ソフトウェアをインストールすると、これまでに行った金型のメンテナンス記録を作成することができます。製造現場での金型のサイクルタイムを監視したいOEMメーカーや、ダウンタイムを短縮したい金型ユーザー、保証書で規定するメンテナンスを行った証明が必要な金型メーカーにとって有益なソフトウェアです。

本ソフトウェアをインストールするのはCVeモニターです。サイズと仕様は従来の金型用ショットカウンターのそれと変わりありませんが、製造工程の管理を重視するメーカーにとって技術面で利点の多いモニターです。従来のショットカウンターでは金型のショット数しか分かりませんが、本ソフトウェアをインストールしたCVeモニターを使用することで次にあげる細かな点まで把握できます。

- 現在の週、過去 52 週間の各週、直近の 25,000 サイクル、金型の使用開始から現時点までの平均サイクルタイム。
- 現在の週、過去 52 週間の各週、直近の 25,000 サイクル、金型の使用開始から現時点までの稼働中のダウンタイム。
- 現在の週、過去 52 週間の各週、金型の使用開始から現時点まで稼働停止になった時間数。
- 予防保全や補修、改造など、金型の稼働を停止した理由をイベント監視に記録。

CVeモニターのモニタリングシステムは今後も進化し続けます。弊社をはじめとするPCICグループの各企業のノウハウや経験だけでなく、お客様のご意見を生かしてOEMメーカー、金型ユーザー、金型メーカーに有益なソフトウェアを作成し、そこで得られる詳細なデータを皆様の意思決定に役立てていただきたいと思います。

ご意見やご提案などがあれば、HelpDesk@AST-tech.de までご連絡ください。

システム要件・ソフトウェア要件

必須要件

- Windows XP（SP2以降）またはWindows 7 Professional
- .Net Framework 4 Client Profile*
- Microsoft Excelc 2003以降
- Internet Explorer 8
- インターネット接続が可能な環境**

推奨要件

- Microsoft Excelc 2007（SP2）またはExcelc 2010 Professional
- インターネット接続が可能な環境***

**パソコンがインターネットにつながっていれば、Net Framework 4 Client Profile をお持ちでなくても、本ソフトウェアのインストール時に自動的にダウンロード/インストールされます。インターネットに接続していない場合、Net Framework 4 Client Profile が自動的にパソコンにダウンロードされないので、http://www.microsoft.com/download/en/details.aspx?id=24872 からダウンロードしインストールするようにしてください。*

***アルファベットのO で始まるデバイスIDの付いたCVe モニターに本ソフトウェアをインストールしてご利用になる場合は、必ずインターネットに接続してください。デバイスIDは同モニターの前面に表示してあります。*

****アルファベットのM で始まるデバイスIDの付いたCVe モニターで本ソフトウェアの機能をすべて利用していただくには、インターネットへの接続が必要になります。*

Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@

CVe モニターの種類について

ご利用になる方の多様なニーズに応えられるように、2 種類の CVe モニターをご用意しています。種類別にモニター前面にある製造番号とデバイス ID を変えています。

アルファベットの O で始まるデバイス ID（“D”または“なお”バージョン”）
O バージョンのモニターの場合、レポートのバックアップファイルを弊社のサーバーに保存することを条件にしているので、データを失うことがありません。サーバーにバックアップファイルを保存することで、本ソフトウェアのご利用の方に“ソースデータ”を提供できるようになります。O バージョンのモニターをご利用の方はバックアップファイルをサーバーに送信できるように、必ずインターネットに接続した状態で本ソフトウェアをお使いください。

アルファベットの M で始まるデバイス ID（“D バージョン”）
M バージョンのモニターの場合、レポートのバックアップファイルをサーバーに保存する必要がないので、インターネットの接続も必要ありません。インターネットに接続している場合は、自動的にレポートをバックアップする設定になります。

CVe モニターの USB フラッシュドライブについて

どの種類の CVe モニターでも、最大で約 2GB までファイルを保存できるようになっています。フラッシュドライブはプリインストールしてあるドライバーを利用するので、他のソフトウェアは必要ありません。

フラッシュドライブは、CVe モニターとパソコンをミニ B タイプの USB ケーブルでつなぎ、モニターに FLASHdr が表示されるまで前面のボタンを押すと利用できるようになります。

Windows が自動的に、同モニターにドライブレターを割り当てます。同モニターに割り当てられたドライブレターは、エクスプローラーをクリックして“リムーバブルディスク”の横に表示されているアルファベットで確認できます。

金型に関するレポートを別の場所でも利用できるように、データを保存する機能を追加しました。例えば、同モニターに保存してある金型の形状（設計図）の最新データを、金型と共に“持ち運ぶ”ことができます。この機能で金型メーカーが補修や改造に必要な情報を得られるので、設計図を確認しながら作業をする必要がなくなります。

レポートのファイル形式について

お客様ごとに本ソフトウェアを利用する環境は異なるため、さまざまなプラットフォームやWindowsのバージョン、IT環境に対応するようになっています。Excel 2003以降をご利用になると、レポート作成の機能をフル活用していただけます。CVeモニターにクエリーを出すパソコンにインストール済みのExcelのバージョンによって、ファイル形式は異なります。

対応しているファイル形式

Microsoft Excel のバージョン	PDFの作成*	Excelワークブックの作成
Excel 2010	✓	✓
Excel 2007	✓	✓
Excel 2003		✓

弊社ではExcel 2007以降の利用をお勧めしています。レポートのセキュリティも考慮して、編集不可のPDFを作成する機能も設けています。なお、Excel形式のレポートもパスワードで保護する設定になっています。

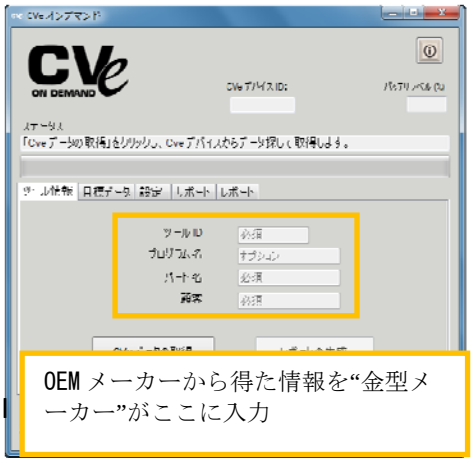
HelpDesk@AST-Tech.de
Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@

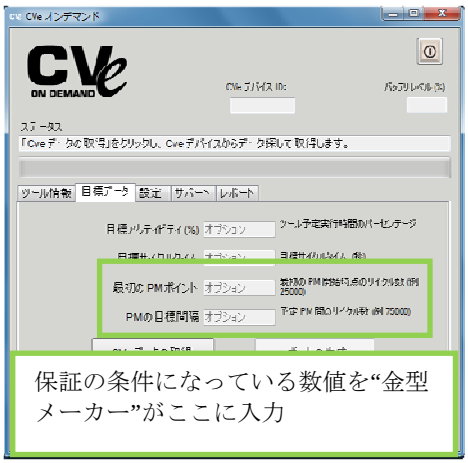
金型の稼働状態を管理する

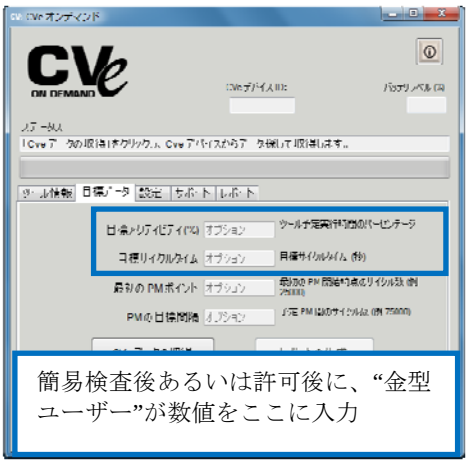
本ソフトウェアの準備を事前に済ませておくと、適切に管理している金型から得た情報を十分に活用できるようになります。CVe モニターと本ソフトウェアで稼働状態を適切に管理できるように、下記にその手順をご紹介します。

使用準備の手順

1. 金型ユーザーと金型メーカーの双方が、www.CVeMonitor.com から無料の本ソフトウェアをダウンロードしてインストールします。
2. CVe モニターをパソコンにつなぎ、本ソフトウェアを利用して OEM メーカー（金型の所有者）が提供した以下の情報を金型メーカーが同モニターに入力します。
   - 金型のサイクル数（古い金型に新たに同モニターを取り付けるときにのみ入力）
   - 顧客名（金型の所有者）
   - 金型部品名（金型の所有者が提供したもの）
   - 金型 ID（金型の所有者が提供したもの）
   - プログラム名（金型の所有者が提供したもの-任意項目）
   - 1 回目のメンテナンスを行うまでのサイクル数（金型メーカーの保証書に記載されているもの）
   - 2 回目以降の予防保全（PM）を行うサイクル数の間隔（金型メーカーの保証書に記載されているもの）
   - 金型メーカーが、金型の形状やレポートを CVe モニターのフラッシュドライブに転送します。
3. 簡易検査を行うために金型を金型ユーザーに送ります。その際に得たデータを基に、目標サイクルタイムと目標稼働率を判断します。CVe モニターをパソコンにつなぎ本ソフトウェアを利用して、以下の情報を金型ユーザーが同モニターに入力します。
   - 金型の目標サイクルタイム
   - 金型の目標稼働率
   - ここで金型メーカーが、セットアップシートを CVe モニターのフラッシュドライブに転送します。







レポート作成の頻度

金型を使用するたびあるいはメンテナンスを行うたびに、レポートを作成することをお勧めします。

レポートを利用する頻度に合わせて作成するようにしてください。例えば、1 週間の生産目標の確認にデータを利用するのであればレポートの作成は毎週、月に 1 回メンテナンスを行うのであればレポートの作成は毎月行うようにします。

HelpDesk@AST-Tech.de
Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@

レポート保存場所のパスについて

本ソフトウェアを初めて使用するときには、ファイルの保存場所を尋ねる画面が現れます。デフォルトの保存場所以外を指定する場合は“参照”ボタンをクリックし、希望の保存先を指定して“保存”をクリックします。保存場所を指定すると、本ソフトウェアがレポートを保存するフォルダを作成します。フォルダの作成場所を変更するのであれば、稼働状態の記録に更新した内容が反映されるように、必ずレポートを新しい保存場所に移動してください。

本ソフトウェアを複数のパソコンで使用する場合は稼働状態の記録に更新した内容が反映されるように、レポートの保存先には必ず、すべて同じ場所を指定してください。

本ソフトウェアでレポートを作成するときは、金型 ID、金型部品名、デバイス ID をフォルダ名にした顧客専用のフォルダも作成されます。同じ CVe モニターから作成されるレポートはすべて、自動的にこのフォルダに保存されます。

OnDemand をアップグレードする

弊社では、常にCVeモニターおよび本ソフトウェアの改善に向けた努力を惜しみません。本ソフトウェアのアップデートがリリースされ次第、ユーザー登録した方全員に電子メールでお知らせします。最新版のソフトウェア、製品情報、取扱説明書はhttp://CVeMonitor.comからダウンロードできます。

本ソフトウェアをアップグレードする場合は、下記の手順に従ってインストールしてください。

なお、本ソフトウェアをアップグレードする際には、ユーザー名とパスワードを再入力する必要はありません。

OnDemand をインストールする

本ソフトウェアをスムースにインストールできるように、
http://www.update.microsoft.com/microsoftupdate/v6/default.aspx?ln=en-us にアクセスして OS とオフィス製品の更新プログラムがないか確認してください。

本ソフトウェアのインストールにあたって、OSによっては4つの手順を行っていただきます。必要な手順をすべて行わないと、本ソフトウェアでレポートを作成できなくなります。各手順の概要は次の通りです。

手順1：ソフトウェアをパソコンにインストールする

手順2*：レポートを作成できるようにExcelを設定する

手順3*：［**Windows 7のみ**］ソフトウェアを使用できるようにパソコンを設定する

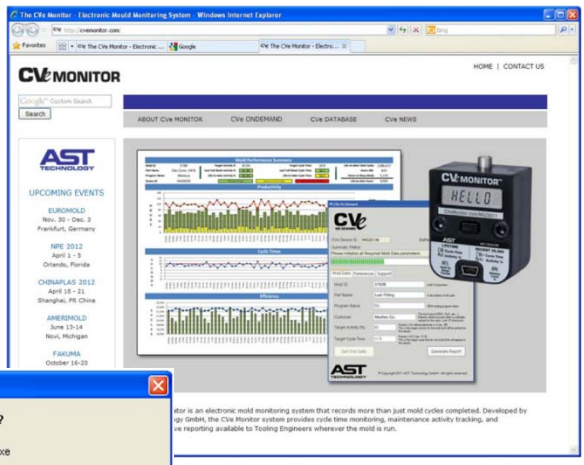
手順4*：ユーザー名とパスワードを登録する

**手順2から4までは、本ソフトウェアを初めてインストールするときにのみ必要な手順です。最新バージョンにアップグレードする際に行う必要はありません（詳細については上記の“詳細については“OnDemand をアップグレードする”をご参照ください）。*

HelpDesk@AST-Tech.de
Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@

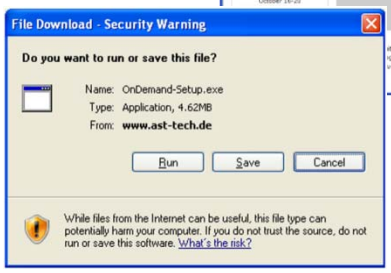
手順 1：ソフトウェアをパソコンにインストールする

本ソフトウェアは www.CVeMonitor.com からダウンロードできます。



“osition:absolute;maをクリックするとインストールが始まります。

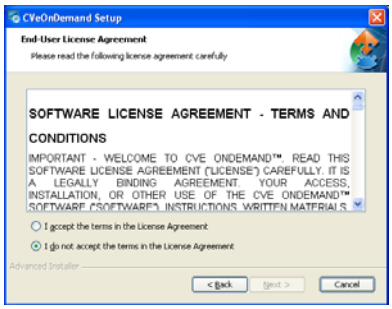
“実行”をクリックして次に進みます


File Download - Security Warning
Do you want to run or save this file?
Name: OnDemand-Setup.exe
Type: Application, 4.62MB
From: www.ast-tech.de
Run
Save
Cancel
While files from the Internet can be useful, this file type can potentially harm your computer. If you do not trust the source, do not run or save this software. What's the risk?

“次へ”をクリックして次の画面に進みます。

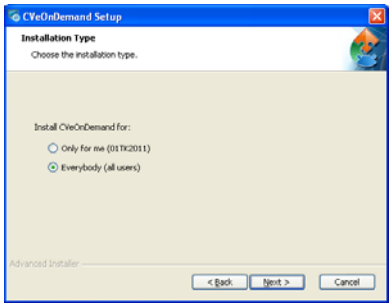
使用許諾契約の画面が表示されたら同意を選んで、**“次へ”**をクリック。

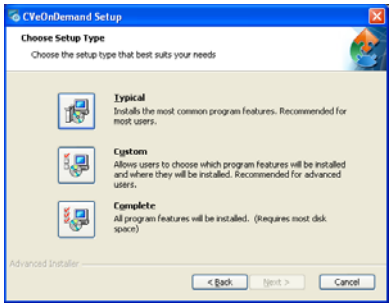
CVeOnDemand Setup
Welcome to the CVeOnDemand Setup Wizard
The Setup Wizard will install CVeOnDemand on your computer. Click "Next" to continue or "Cancel" to exit the Setup Wizard.
< Back
Next >
Cancel


CVeOnDemand Setup
End-User License Agreement
Please read the following license agreement carefully
SOFTWARE LICENSE AGREEMENT - TERMS AND CONDITIONS
IMPORTANT - WELCOME TO CVE ONDEMAND™. READ THIS SOFTWARE LICENSE AGREEMENT ("LICENSE") CAREFULLY. IT IS A LEGALLY BINDING AGREEMENT. YOUR ACCESS, INSTALLATION, OR OTHER USE OF THE CVE ONDEMAND™ SOFTWARE ("SOFTWARE"), INSTRUCTIONS, WRITTEN MATERIALS
I accept the terms in the License Agreement
I do not accept the terms in the License Agreement
Advanced Installer
< Back
Next >
Cancel

セットアップの種類を選択し（**“標準”**が推奨設定）、“次へ”をクリック。

最後に “すべて” インストールを選択し、“次へ” をクリックしてインストールを完了させます




CVeOnDemand Setup
Choose Setup Type
Choose the setup type that best suits your needs
Typical
Installs the most common program features. Recommended for most users.
Custom
Allows users to choose which program features will be installed and where they will be installed. Recommended for advanced users.
Complete
All program features will be installed. (Requires most disk space)
Advanced Installer
< Back
Next >
Cancel

HelpDesk@AST-Tech.de
Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@

手順 2：レポートを作成できるように Excel を設定する

本ソフトウェアはMicrosoft Excelを利用してレポートと稼働状態の記録を作成します。エクセルのバージョン別の設定方法を下記に示しています。お使いのバージョンに合わせて設定すると、本ソフトウェアのレポート作成機能をすべて利用できます。

Excel 2010

- Excel 2010を開きます。
- メニューバーのファイルをクリックして、画面左側のオプションを選択します。
- 画面左側のセキュリティセンターを選択して、セキュリティセンターの設定ボタンをクリックします。
- 画面左側のマクロの設定を選択して、VBAプロジェクトオブジェクトモデルへのアクセスを信頼するにチェックを入れます
- OKをクリックしてExcelを閉じます。

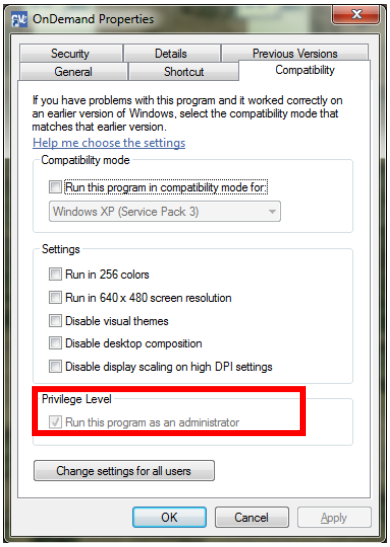
Excel 2007

- Excel 2007を開きます。
- 画面左上のOfficeボタンをクリックします。
- エクセルのオプションを選択します。
- セキュリティセンターのタブを選択して、セキュリティセンターの設定ボタンをくりっ
- マクロの設定を選択して、VBAプロジェクトオブジェクトモデルへのアクセスを信頼するにチェックを入れます。
- OKをクリックしてExcelを閉じます。

Excel 2003

- Excel 2003を開きます。
- メニューバーの**ツール**をクリックしてドロップダウンメニューを開き、**マクロ**、**セキュリティ**の順番にクリックしてください。
- **信頼できる発行元**のタブを選択して、**Visual Basicプロジェクトへのアクセスを信頼する**にチェックを入れます。
- **OK** をクリックして設定を有効にして、Excel を閉じます。

手順 3：ソフトウェアを使用できるようにパソコンを設定する（Windows 7 のみ）



Windows 7のみ、インストールの完了までにもう一つ手順を踏む必要があります。下記の設定を行うと、Excelで本ソフトウェアのレポートを作成できるようになります。

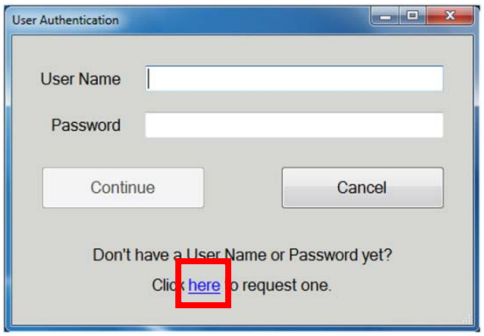
Windows 7での設定方法

- 本ソフトウェアのデスクトップアイコンを右クリックします。
- メニューの一番下にある**プロパティ**を選択します。
- （互換性のタブにある）[**管理者としてこのプログラムを実行する**] の横にあるボックスにチェックを入れます。
- 場合によっては管理者のパスワードの入力を求める画面が表示されます。（その画面が表示されたときは、MIS担当部門もしくはIT部門に相談してください。）
- [適用] をクリックして画面を閉じます。

HelpDesk@AST-Tech.de
Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@

手順 4：ユーザー名とパスワードを登録する

本ソフトウェアを初めて起動したときに、ユーザー名とパスワードを設定する画面が表示されます。ログイン画面下の“ここ”という部分をクリックすると、ユーザー名とパスワードを受け取る方法が表示されます。



ユーザー名とパスワード発行を求める電子メールを弊社に送信したあと、本ソフトウェアを起動して弊社が発行したユーザー名とパスワードを入力してください。
社内の他のパソコンに本ソフトウェアをインストールする際にも、そのユーザー名とパスワードを入力してください。

初回にユーザー名とパスワードを入力したら、それ以降は入力する必要はありません。

言語を設定する

製造業のグローバル化に合わせて、本ソフトウェアの表示とレポートを複数の言語で表示できるようにしています。現在対応していない言語での表示をご希望の場合は、弊社までご連絡ください。

本ソフトウェアの表示、レポート、稼働状態の記録の表示言語を変更する場合は、該当する国旗を選んでください。

Windows XP で中国語に設定する場合は、下記の手順に沿って言語パックをインストールしてください。

1) スタート、設定の順に進んでコントロールパネルを開きます
2) [地域と言語のオプション] を選びます。

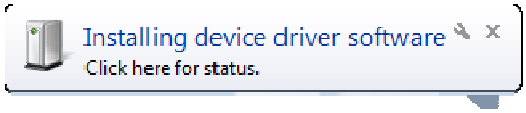
同画面の言語タブをクリックして、
“[illegible]East Asian languages”にチェックがはいっていることを確認してください。チェックがはいっていない場合は、チェックを入れます。
言語パックをインストールして、パソコンを再起動します。

HelpDesk@AST-Tech.de
Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@

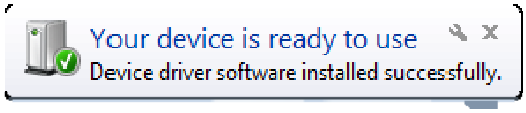
CVe モニターを初期化する

CVeモニターの初期化手順

1. 本ソフトウェアをインストールしてあるパソコンと**CVeモニターを、ミニBタイプのUSBケーブルでつなぎます**。
2. CVeモニターがFLASHdrモードになっていないことを確認します。同モニターの画面からFLASHdrの表示が消えるまで前面のボタンを押してください。
3. **同モニターのドライバー**のインストールが終わるまで待ちます。一度も同モニターを接続したことのないパソコンに同モニターを接続すると、ドライバーのインストールが始まります。



モニター使用準備完了



ドライバーのイントール完了

4. 同モニター初めて使用する場合は、**サイクルカウントを開始する**数字を入力してください（0は入力しないでください）。
5. **顧客名、ツールID、金型部品名**の欄は必ず入力してください（任意の項目はいつでも入力できます）。
6. **[レポートの作成]** をクリックして、5番で入力した情報を常にレポートに表示するようCVeモニターに設定します。
7. ポップアップ画面の**OKをクリック**してこの設定が反映されるようにします。

パフォーマンスレポートと稼働状態レポートを作成する

CVeモニターを取り付けた金型ごとに、パフォーマンスレポートと稼働状態レポートをカスタマイズして作成することができます。両レポートには直近のサイクルタイム、総サイクルタイム、効率化対策を表示するだけでなく、実施したメンテナンスをグラフ表示して、常に予定通りにPMが行われているか確認できるようになっています。

いずれのレポートも金型の状態を把握するのに欠かせないデータであり、成形品の質に関わる問題点の解決にも役立つため、主な利害関係者に定期的に送るようにしてください。

パフォーマンスレポートと稼働状態レポートの作成手順

1. **初期化済み**のCVeモニターとパソコンをミニBタイプのUSBケーブルでつなぎます。
2. **登録済み**の本ソフトウェアを起動します。
3. “本刀データの取得”をクリックします。
4. 本ソフトウェアがCVeモニターから金型のデータを取得したあと、“レポートを作成”をクリックして次に進みます。

ここで“CVe OnDemandのレポート作成”画面が表示されたら、次の手順に従います。

5. （CVe OnDemandのレポート作成画面の）“モニターの接続者名”と“会社名”の欄を入力します。
6. “モニターに接続する理由”から該当する理由を選択して、“稼働状態の記録”の備考欄に入れるコメントを入力します。
7. レポートの送信先のメールアドレスが複数ある場合は、アドレスの間にセミコロン（；）を挿入して、“続ける”をクリックします。

本ソフトウェアから電子メールを送信する場合はインターネットへの接続が必要になります。また、ファイアウォールの設定変更や、個人のアカウントから電子メールを送信するために本ソフトウェアを設定することが必要になる場合もあります。

HelpDesk@AST-Tech.de
Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@

データセキュリティについて

金型に関するデータやカスタムデータを保存したり、レポートや稼働状態の記録を作成するときは、暗号化するようになっています。弊社のサーバーにバックアップする CVe モニターのデータも、すべて必ず暗号化します。

データセキュリティを最大限に高めるために、CVe モニターのデータを、本ソフトウェアのユーザーに送信するときには、暗号化済みルートファイルにして送るようにしてください。ただし、PDF や Excel のレポートであれば保護されているので、レポートの送信先が本ソフトウェアをインストールしていなくても閲覧できます。

CVe モニターのデータとレポートの閲覧・送信手順

PDF や Excel の最新レポートも拡張子が（.enc）の暗号化したレポートも、本ソフトウェアのレポートタブで選択して閲覧したり送信したりできます。

以前に作成したレポートを送信あるいは閲覧する場合は、レポートタブ（右図）のドロップダウンメニューで該当するモニターを選んでください。この方法でレポートを送信すれば、送信先では本ソフトウェアは必要ありません。

よりセキュリティを高めるために暗号化したデータを送信する場合は、**レポートタブ**の暗号化済みルートファイルのドロップダウンメニューから該当するファイル選びます。メールアドレスを入力して **[レポートを送信]** をクリックしてください。この方法でデータを送信する場合は、データを閲覧するために送信先にも本ソフトウェアが必要になります。

CVe モニターの暗号化データからレポートを作成する場合は、**[レポート]** タブの暗号化済みルートファイルのドロップダウンメニューで該当するファイル選び、次の画面で **[レポートを作成]** をクリックしてください。

レポートをインポートする

拡張子が.enc のレポートファイルをインポートするときは、必ず、本ソフトウェアで暗号化したファイルを保存しているフォルダに転送してください。フォルダ名は **EncryptedDataFile**（暗号化済みデータファイル）で、設定タブで指定した“レポートの保存場所”にあります。**EncryptedDataFiles** フォルダにレポートファイルを転送後、レポートタブの暗号化済みルートファイルのドロップダウンメニューで該当する CVe モニターを選ぶと、レポートを作成できます。

金型を移動する

金型の稼働状態をすべて記載した一連の記録を消失してしまわないようにするには、移動する金型だけでなく、CVe モニターの暗号化済みルートファイルの保存先も移動する必要があります。**[設定]** タブで指定したレポートの保存場所にある **EncryptedDataFiles** フォルダに保存している、最新の暗号化済みルートファイル（拡張子は.enc）を CVe モニターのフラッシュドライブに転送します。

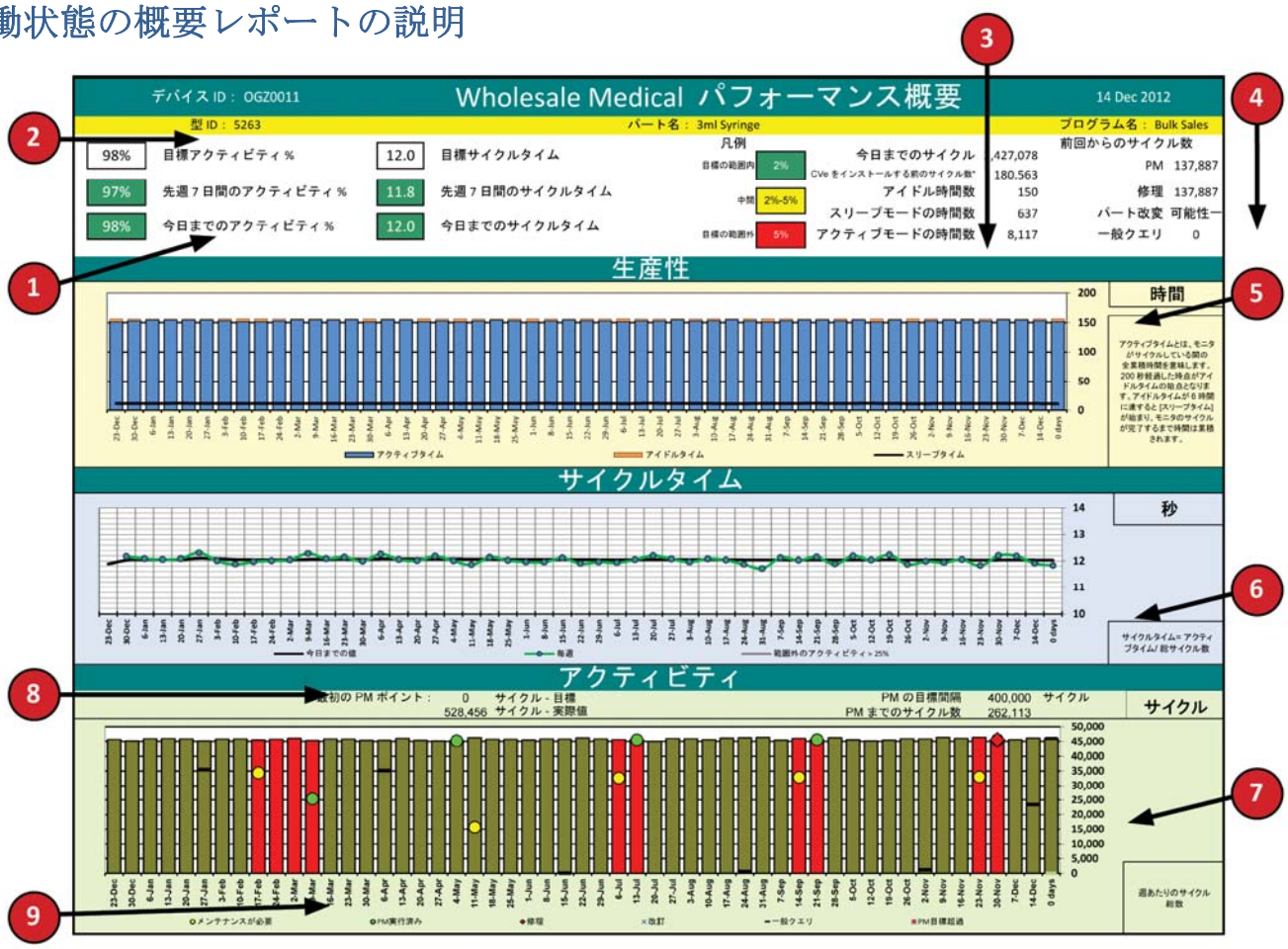
同モニターを取り付けた金型の受取人は、**「レポートをインポートする」**に記載されている方法で、必ず暗号化済みルートファイルをインポートしてください。

データのダウンロード時間を短縮する

設定タブに表示される拡張子.xls や.pdf の横にあるボックスのチェックを外すと、CVe モニターからデータを暗号化してダウンロードできますが、この場合、閲覧可能な状態のレポートは作成できません。レポートタブの暗号化済みルートファイルのドロップダウンメニューで該当する CVe モニターを選び、その次の画面で **[レポートを作成]** をクリックすると、いつでも閲覧可能なレポートを作成することができます。このようにすると、同モニターからのデータのダウンロード時間を短縮できます。

HelpDesk@AST-Tech.de
Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@

稼働状態の概要レポートの説明

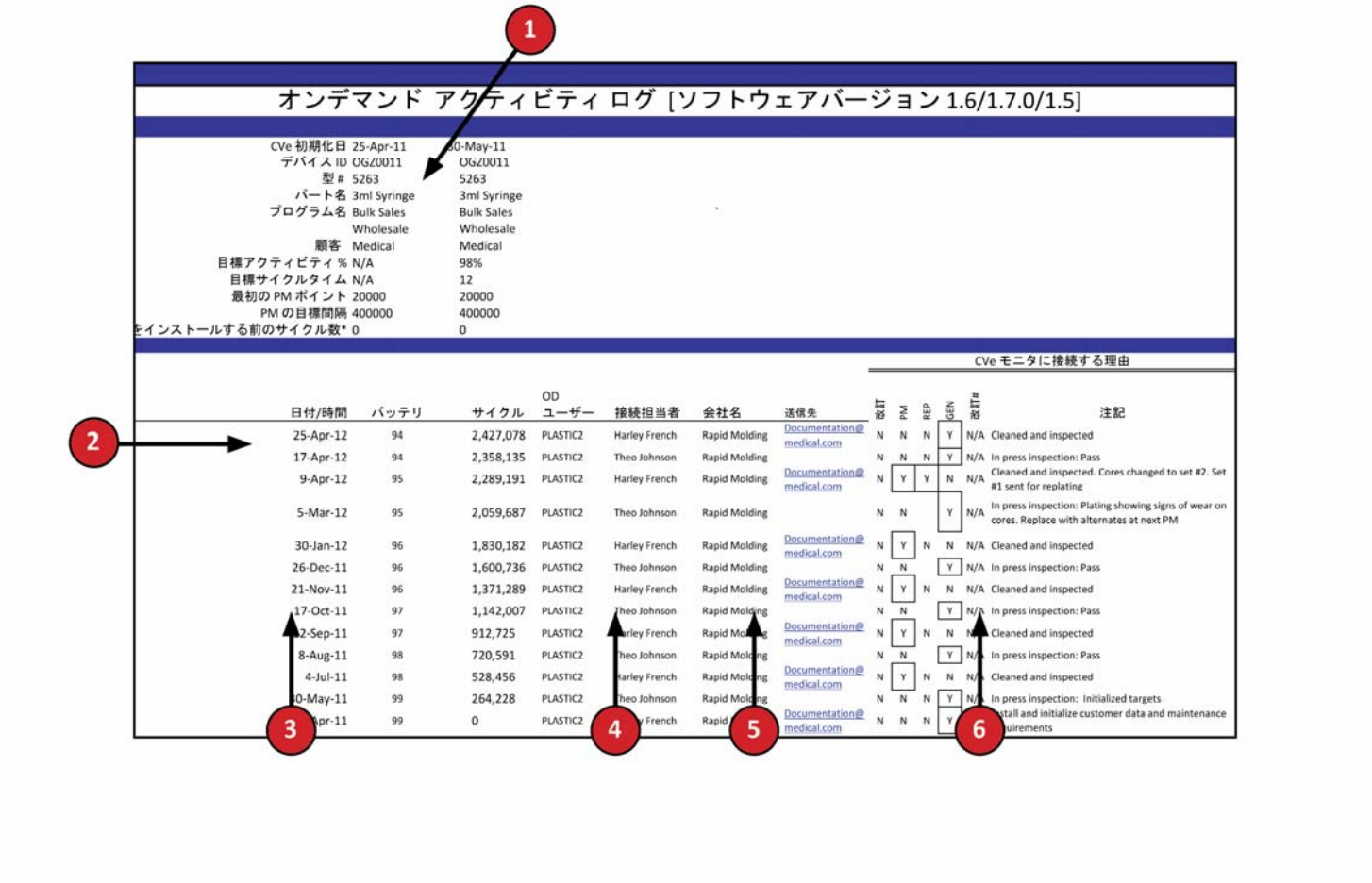


稼働状態のモニタリングレポート：待機時間の変化を表示して、ダウンタイムの問題があることを知らせます。

1. **サイクルタイムのモニター**：サイクルタイムの増減や、CVeモニターを初期化する際に入力した目標値と実際の稼働率の変化が一目で分かります。
2. **金型情報**：どの金型の情報を見ているのか一目で分かります。
3. **これまでの使用状況**：金型を稼働した時間や総サイクル数を表示します。
4. **直近の使用状況**：直近に行ったPM（予防保全）、補修、金型部品の改造、問い合わせから、現在までのサイクルカウントを表示します。
5. **生産性のグラフ**：金型のダウンタイムを表示します。
6. **サイクルタイムのグラフ**：サイクルタイムの週間データと合計したデータを重ねて表示します。週間の平均サイクルタイムと総サイクルタイムとの間に25%以上の差があると、灰色のバーが表示されます。
7. **稼働状態のグラフ**：これまでの週間サイクル数を表示するので、稼働時間を正確に評価できます。
8. **メンテナンス情報**：初回のPMを行うまでのサイクル数と、2回目以降のPMを行うまでのサイクル数を表示します。
9. **イベント監視**：金型の受取、PMの実施、補修、金型部品の改造、問い合わせがあった時期をグラフに表示します。稼働している金型のサイクル数が必須メンテナンスの実施基準になるサイクル数を超えると、バーの色を変えて知らせます。例えば赤いバーは、PMを行う基準のサイクル数を超えているのに、金型を稼働させていることを表しています。

HelpDesk@AST-Tech.de
Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@

稼働状態の記録の説明



- 金型の使用開始日
- CVeモニターの製造番号：どのデバイスIDの記録かが分かります。
- 加工する金型部品名
- 固有のプログラム名：OEMメーカーの方が見て、どの金型のデータかすぐに分かります。
- 顧客名
- 目標稼働率：本ソフトウェアに入力した率。
- 目標サイクルタイム：サイクルタイムの推奨回数を維持できなかった回数。
- PM実施の初回ポイント：1回目のメンテナンスを行うまでのサイクル数。
- PM実施の目標ポイント：2回目以降はこのサイクル数ごとに必須メンテナンスを行います。

2. **金型の稼働日**：金型の稼働を停止した日付を表示し、OEMメーカーの指示と一致していることを示します。
3. **総サイクル数**：これまで稼働する必要のあったサイクル数。この数字を基に効率を重視した予防保全（PM）の実施次期を決められます。
4. **送信先アドレス**：稼働状態のレポートや記録を送信した顧客のアドレスを一覧表示しているので、余分な手順を踏まずに、この記録を表示しているアドレス宛に送信できます。
5. **メンテナンスの記録**：ダウンタイムが必要になった理由（金型の予防保全や改造など）を表示しています。
6. **備考**：お客様が所有する金型ごとに、コメントを入力して残すことができます。また、本ソフトウェアのユーザーが、実施時期を過ぎたPMや次回のPMについてコメントを残すこともできます。

HelpDesk@AST-Tech.de
Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@

トラブルシューティングについて

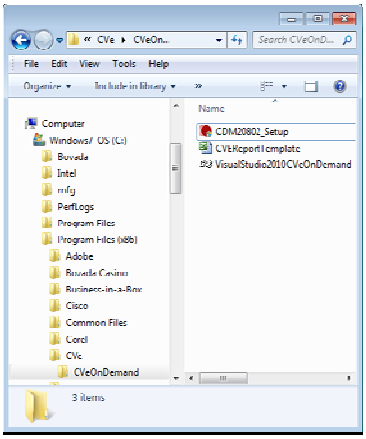
弊社では本ソフトウェアならびに CVe モニターをご利用のお客様には、カスタマーサービスを提供しています。サポートが必要になるような問題が起きた場合には、HelpDesk@AST-tech.de までご連絡ください。

その際には以下の情報をご用意の上、ご連絡ください。

1. 本ソフトウェアのバージョン
2. お使いのパソコンの OS
3. Excel のバージョン
4. CVe モニターに表示のデバイス ID
5. エラーメッセージのプリントスクリーン

発生頻度の高いエラーの対処法を下記に説明します。本ソフトウェアの設定内容やパソコンのOS、Excelのバージョンによって対処法は異なります。

CVe モニターの検出を 5 回試しても見つからない場合



1. CVe モニターが FLASHdr モードになっていないことを確認します。同モニターの画面で FLASHdr の表示が消えるまで前面のボタンを押してください。

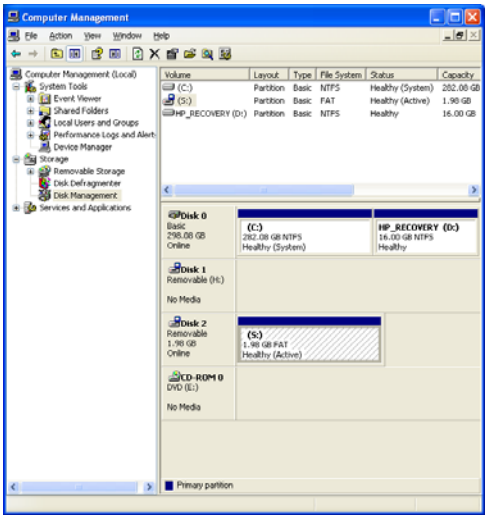
   この手順で CVe モニターを検出できない場合…ニ

2. CVeモニターのドライバーを手動でインストールします。同モニターのルートフォルダに進み、CDM20802_Setupというドライバーをダブルクリックしてください。

   この手順で CVe モニターを検出できない場合…

3. パソコンの USB ポートに他のデバイスを接続して、ポート自体に不具合がないか確認します。接続したデバイスも動かないようであれば、パソコンの USB ポートに不具合が生じているか、社内の規定で使用制限をしていることも考えられます（社内の IT 部門にご相談ください）。

FLASHdr を検出できない場合



1. 正常に起動するデバイスをパソコンのUSBポートに接続して、ポート自体に不具合がないことを確認します。
2. CVeモニターとパソコンがミニBタイプのUSBケーブルでつながっており、同モニターの画面にFLASHdrと表示されていることを確認します。
3. CVeモニターのフォルダに保存されているドライブのパスを、次の方法で変更します。
   a. Windows のスタートボタンをクリックします。
   b. マイコンピュータを右クリックします。
   c. ドロップダウンメニューから“管理”を選択します。
   d. CVe モニターのフォルダに保存されているドライブ（上部に青いバーが表示されている部分。右側の画面の下側に表示されます）を右クリックして、“ドライブ文字とパスの変更”を選択します。
   e. “変更”をクリックします。
   f. “次のドライブ文字を割り当てる”をクリックして、“G”を選択します（S がない場合は他の文字を割り当ててください）。

HelpDesk@AST-Tech.de
Copyright ©opyright ST-Tech.delpDesk@